

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月28日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	小牧市	代表者名	山下史守朗
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0568-76-1156
担当者役職	専門員	担当者氏名	吉田健太郎
		連絡先E-mail	
住所	485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	なぜデータの利活用が必要とされているのか、公開したデータがどのように民間サービスに活用されているのかという部分の講義について、実際のサービス事例を挙げて説明いただいたため、とても理解しやすかった。
アドバイザーへの要望事項	次年度もよろしくお願いします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年11月16日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	12時00分	
				活動時間（分）	150
3-2. 派遣場所	会場名	小牧市役所	最寄駅	小牧駅	
	所在地	小牧市堀の内三丁目1番地	最寄駅からの交通手段	バス	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  掲載可

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	28人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	職員の中でも、データの利活用の重要性や必要性を理解できているのは、未だ少数である。データを利活用することで、どんなメリットがあるのかや活用事例などを理解できていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	公開されたデータを計画の立案や業務効率化に活用できるようにする。データの活用活用に係る重要性や意義を理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	市が公開したデータが、どのように民間サービスに活用されているのか等の事例を中心に、データ利活用のメリットについて講義をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	参加者のデータ利活用に係る重要性や意義を理解することができた。また、自身の業務への活用を促すことができた。	

(具体的にご記入下さい)	〇ししがしん。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおりアンケート集計結果を添付します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。  
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



